

議員提出議案第 28 号

県道石垣空港線の早期全面開通に向けた沖縄振興予算の増額及び重点配分を
求める意見書

このことについて、石垣市議会会議規則第 14 条第 1 項の規定により提出いたします。

令和 7 年 12 月 15 日

提出者 花 谷 史 郎

賛成者 内 原 英 聰

石垣市議会

議長 我喜屋 隆次 殿

理 由

県道石垣空港線の早期全面開通を実現するため。

県道石垣空港線の早期全面開通に向けた沖縄振興予算の増額及び重点配分を求める意見書

沖縄県が事業を進めている県道石垣空港線については、石垣空港と石垣市街地・県立八重山病院を結ぶ「八重山圏域の経済活動、観光振興、そして市民生活の根幹を支える重要な幹線道路」であります。その全線開通は、地域の持続的な発展のために強く望まれています。

当初の開通予定から何度も延期を繰り返し、現時点では全線開通時期は 2027 年度末と大幅に遅延している。直近では全線開通時期は 2020 年代後半という表現もあり、更なる延期の懸念もあることから、市民の利便性向上および地域経済の活性化の観点から看過できません。

特に、離島・へき地からの救急患者の輸送において、石垣空港と県立八重山病院間の迅速なアクセスは、住民の生命を守る上で極めて重要な課題であり、全線開通の遅れは、医療提供体制の維持に深刻な影響を及ぼします。

さらに、本路線は、国民保護法に基づく住民避難計画においても、緊急時の避難経路として、また救援物資の輸送路としても極めて重要な位置づけにあります。全線開通の遅延は、平時の利便性だけでなく、有事の際の住民の安全確保体制にも深刻な支障をきたすものです。

よって、石垣市議会は、日本政府に対し、本路線の早期全面開通・供用開始の実現に向け、沖縄振興予算の増額と重点配分を講じるよう強く求めるものであります。

日本政府におかれましては、本路線の重要性、特に地域振興、医療体制、及び国民保護上の重要性を深く再認識し、下記のとおり特段の措置を講じるよう強く要望します。

記

- 1 県道石垣空港線の 2027 年度末とされる全線開通・供用開始を確実に実現するため、沖縄振興予算における必要な事業費の増額と重点的な配分を行うこと。
- 2 残る未開通区間の事業推進において、用地取得の迅速化や工事の効率化が図れるよう、沖縄県への技術的・財政的な支援を強化し、早期の全面開通を目指すこと。
- 3 救急搬送体制の強化、交通利便性の向上、及び国民保護法に基づく緊急時の避難・輸送体制の確保に直結する路線であることを踏まえ、本事業を最優先課題として取り組むこと。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

令和 7 年 12 月 15 日

石垣市議会

宛先 内閣総理大臣、内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）